※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

歩行者の交通事故発生状況

令和6年中

1　歩行者事故の発生状況

令和６年中の歩行者が死傷した交通事故は、前年と比較して、発生件数、死傷者数ともに増加しました。

なお、死亡事故は13件13人発生し、前年比＋４件＋２人となりました。

【歩行者事故の発生状況】　（令和６年中）

区　分		発生件数	死亡事故		負傷者数		
			件　数	死者数	重　傷	軽　傷	計
本　年		511	13	13	119	388	507
前　年		488	9	11	127	362	489
増	数	23	4	2	−8	26	18
減	率	4.7	44.4	18.2	−6.3	7.2	3.7

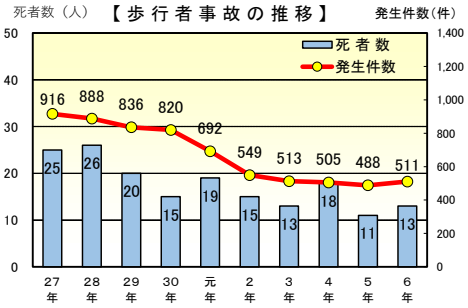
【歩行者の交通死亡事故発生状況】　（令和６年中）

No.	発生年月日等									第１当事者		事故類型	死者
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候	発生場所	路線	高齢者	車種		高齢者
1	6	1	2	17	火	夜	晴	角田市梶賀	市道	◎	軽乗	対面通行	◎
2	6	1	6	21	土	夜	曇	仙台市宮城野区榴岡	市道	−	普乗	横断中	◎
3	6	1	30	6	火	夜	晴	仙台市太白区富田	市道	−	普乗	横断中	◎
4	6	2	7	19	水	夜	晴	仙台市若林区遠見塚	市道	−	普乗	路上横臥	−
5	6	6	27	6	木	昼	晴	仙台市若林区古城	国道	−	大貨	横断中	◎
6	6	8	19	10	月	昼	晴	仙台市青葉区角五郎	市道	◎	軽貨	横断中	◎
7	6	8	27	2	火	夜	晴	山元町髙瀬	国道	−	普乗	対面通行	◎
8	6	10	2	5	水	夜	晴	仙台市宮城野区榴岡	市道	◎	軽乗	横断中	−
9	6	10	12	5	土	夜	晴	栗原市一迫柳目	国道	−	普乗	横断中	◎
10	6	10	21	6	月	昼	晴	登米市米山町	県道	−	軽貨	横断中	◎
11	6	10	23	3	水	夜	晴	大和町吉岡	町道	−	大特	路上作業	◎
12	6	11	24	22	日	夜	晴	白石市大鷹沢	市道	−	普乗	路上停止	−
13	6	12	19	8	木	昼	晴	白石市松ヶ丘	市道	−	軽乗	横断中	−

2　歩行者事故の発生推移（基礎データ平成27年～令和６年）

平成27年以降、歩行者事故の発生件数は減少傾向にあり、令和５年に発生件数及び死者数が統計が残る昭和41年以降で最少となりましたが、令和６年は増加に転じました。

また、全人身交通事故が10年間で56.1%減少（平成27年8,624件→令和６年3,785件。−4,839件）したのに対し、歩行者事故は44.2%の減少（平成27年916件→令和６年511件。−405件）にとどまりました。



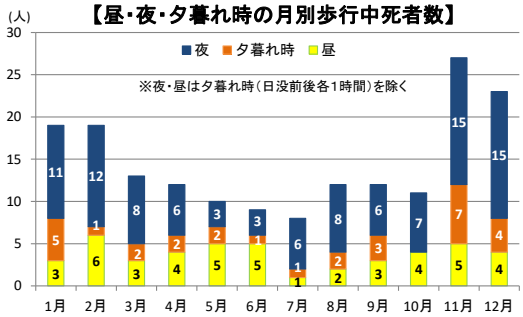
区　分	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年
発生件数	916	888	836	820	692	549	513	505	488	511
死　者　数	25	26	20	15	19	15	13	18	11	13
うち高齢者	13	12	13	9	10	9	11	10	4	9
負　傷　者	913	889	832	832	693	553	513	496	489	507

3　過去10年間の歩行中死者の月別発生状況

（平成27年～令和６年）

歩行中の交通事故死者数を月別に見ると、11月及び12月が特に多くなっています。

昼夜別では、冬季には夜間の事故が多発しており、秋から冬にかけては夕暮れ時の事故も多くなっています。



※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

4　歩行者事故の発生特徴等（令和６年中）

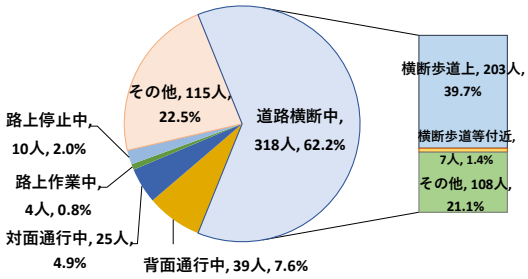
(1) 約６割が道路横断中の事故

死傷者の約６割（520人中318人。62.2%）が道路横断中の事故でした。

内訳は、横断歩道上が203人と最も多く、横断歩道付近や歩道橋付近が７人、その他横断が108人となりました。

横断中に直進車両（一般原付以上）と衝突した事故について、夜間帯に発生した重傷以上の死傷者数は、約９割（29人中26人。89.7%）が左からの車両との衝突でした。

【歩行者の状態別死傷者】



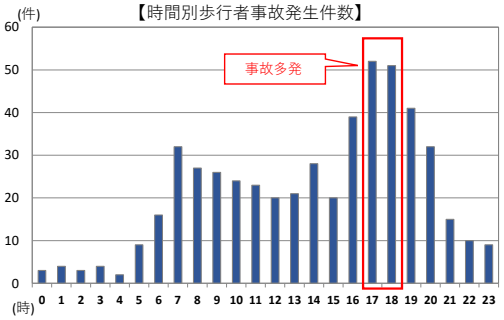
負傷の程度	右からの車両		左からの車両	
	昼	夜	昼	夜
死亡	0	1	2	3
重傷	8	2	13	23
軽傷	29	12	24	22
総計	37	15	39	48

(2) 17時台～18時台の発生が多い

発生時間別では、17時台～18時台に多発（511件中103件。20.2%）しました。

昼夜別では、約５割（511件中236件。46.2%）が夜間に発生し、全事故における夜間の割合（3,785件中1,046件。27.6%）を18.6ポイント上回りました。

【時間別歩行者事故発生件数】



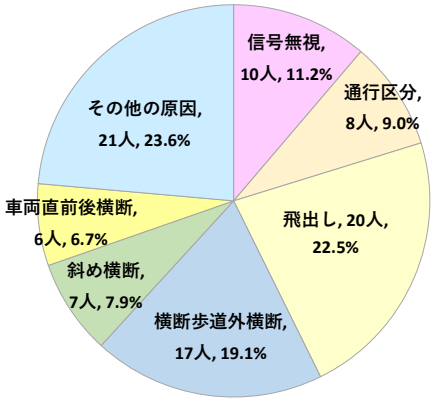
(3) 歩行中死傷者の約２割に違反あり

歩行中死傷者の約２割（520人中89人。17.1%）には何らかの違反が認められ、特に飛出しが20人で最多となりました。

違反が認められた歩行中死傷者の33.7%（89人中30人）は重傷以上でした。

一方、違反がなかった歩行中死傷者では、重傷以上が23.7%（431人中102人）で、違反が認められた歩行者を10.0ポイント下回りました。

【歩行者側の原因】

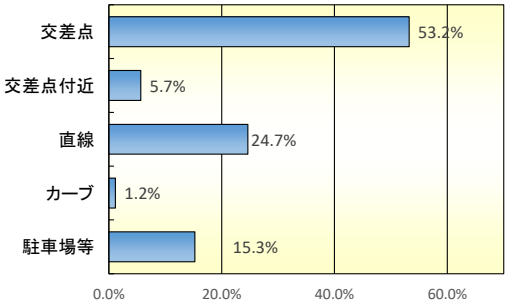


(4) 交差点での発生が約５割

道路形状別では、交差点での発生が約５割（511件中272件。53.2%）を占めました。

また、交差点に次いで直線（126件。24.7%）、駐車場等（78件。15.3%）の順に多くなりました。

【道路形状別発生状況（構成率）】



(5) 学職別では高齢者が多い

死傷者の年齢別・学職別では、65歳以上の高齢者が多く、死傷者の約３割（520人中132人。25.4%）を占めました。

※学職別は主なものを抜粋

区分	計	年齢別										学職別				
		～14	15～19	20～24	25～29	30代	40代	50代	60代	70代	80～	未就学児	小学生	中学生	高校生	高齢者
死傷者数	520	61	19	45	32	63	70	72	41	62	55	4	41	16	10	132
死 者 数	13	0	0	0	1	1	0	1	2	3	5	0	0	0	0	9
負傷者数	507	61	19	45	31	62	70	71	39	59	50	4	41	16	10	123

宮城県警察本部交通企画課